

愛の輪

第 36 号

豊郷町老人クラブ連合会
豊郷町老ク連広報部
豊郷町老ク連事務局
豊郷町石畠518
豊郷小学校旧校舎棟内
TEL(0749)35-3632
FAX(0749)35-3638



木々の芽がふくらみ始める頃となりました
皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び
申し上げます。

平素は町政各般に亘りまして格別のご理解
ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

豊郷町老人クラブ連合会の皆様におかれま
しては「生涯現役で、いきいきと生活でける住
みよい地域社会づくり」に向け、「健康」「いきが
いづくり」「友愛」「奉仕」「子育て支援」など様々な
な活動を通して会員相互の交流を図ると共に
世代を超えた交流も行うなど、皆様方の熱意あ
ふれるお取り組みに心より敬意を表す次第で
あります。

さて今日、地域社会において繋がりが希薄と
なる傾向のなかで、会員の皆様方が互いに情報
を共有されることは、一人ひとりの暮らしの安
全を守ると共に、防犯や安全・安心の地域づく
りへと繋がるものと考えております。

先日も、「最近、姿を見かけないのだが大丈夫だろうか」という言葉を受けて、福祉課職員が警察と一緒に自宅を訪問させてもらい、衰弱して動けない状態の独居の方を救助するという事案がありました。皆様の友愛活動等を通して地域の結びつきを強めることは、孤立を防ぎ、支援を必要とする高齢者等を地域みんなで見守つていくことに繋がる大切な取り組みです。

今日、高齢社会が急速に進み、豊郷町においても昨年10月1日現在で65歳以上の方は1,918人、ほぼ4人に1人が高齢者という状況にあります。そうした中、豊富な知識と経験をお持ちの皆様方の幅広い活動は、町民の皆さんにやる気と元気、勇気を与え、ゆとりと潤い、安らぎに満ちた心豊かな地域社会の構築に向けて大きく寄与しており、町行政といたしましても、皆様方が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、健康づくりや介護予防、福祉の充実強化等に努めてまいりたいと存じますので、お力添え賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。

本年が貴連合会の皆様にとりまして幸多い一年となりますよう心よりご祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

伊藤定勲 豊郷町長

急に春めいてまいりましたが、会員の皆様方にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は、豊郷町老人クラブ連合会の事業に対しまして格段のご理解とご協力を頂き有難うございます。

就任しましてから早二年が経ち、昨年までを振り返りみて何のお役にも立てず皆様には大変ご迷惑をおかけしたのでは、と心配しております。

全国的に一番難題は会員減少問題です。それぞの地域にあつた取り組みを事例発表されていました。超高齢化社会に対応し、会員一人一人が健康寿命の増進を図るとともに、若手会員の加入推進に取り組むことの必要性を単位老人クラブとの連携を一層深めることにより会員増強につなげていきたいと願っています。

又、町行政と連携を深め地域福祉に貢献できるよう取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、なお一層健康に留意され、皆様のご多幸を祈念しご挨拶とさせていただきます。

だきました。全国大会では、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をテーマに、それぞれの地域から意見を持ち寄り活発に意見交換され盛会に開催され、来年は沖縄で会おうと、全国老人クラブ副会長の挨拶で閉会となりました。



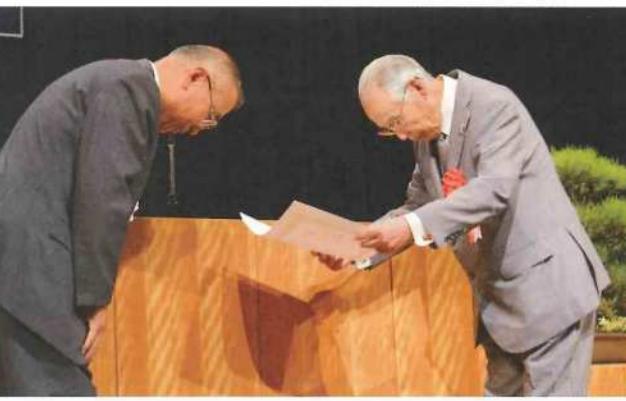
豊郷町老人クラブ連合会
会長

老人クラブ大会の開催

総務部代表理事 安田誠雄

去る十月十三日（金）、豊郷町老人クラブ大会を開催しました。今年のテーマは「のばそう健康寿命 担おう 地域づくり」

町長はじめ多くの来賓のご出席をいただき、盛大に式典を開催することが出来ました。



奉仕」全国三大運動として、明るく豊かで活力ある超高齢社会の実現に向け取り組んでいます。高齢期を楽しく生きがいをもつて安心して暮らしていくために、健康で自立し、身近な仲間と支え合いながら住みよい地域作りを進めていく事が必要です。」

大会宣言の後、交通安全協会より「高齢者の運転講習の変更と自転車保険等」の講演があり、アトラクションとして《丸ちえろ》による大道芸のショーアリ、舞台

いっぱいダイナミックに演じられました。最後は会場の皆さんで「ふるさと」を大合唱し、和やかな一時を過ごすことが出来ました。

本大会にご協力いただきました関係者の皆様、厚く御礼申し上げます。



広報部代表理事 村岸善一

春色のなごやかな季節、会員皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成29年4月より広報部の代表をお受けしましたが最初は戸惑うばかりで早1年が過ぎようとしています。第1回の発行では、会員の皆様に「わかりやすく興味をもつて読んでもらえる」をテーマに広報部員の皆様と紙面のレイアウト等いろいろ話し合いを重ねてまいりました。第35号

体育部代表理事 高橋英一

平成29年度6月30日（金）、第11回ニユースポーツ競技大会を実施しました。当日はあいにくの雨のため、午前中のグラウンドゴルフは中止となりましたが、午後からガラッキー、ディスコン、ワナゲの競技を実施しました。応援を含め150名の方に参加していただき、なごやかに大会が終了しました事を厚くお礼申し上げます。

競技の結果は次の通りです。



健康維持・ふれあいの場として

豊郷シニアGGクラブ会長 西山幸治

女性部研修会として、愛知県方面へレンコン掘り体験を決めたまでは良かったのですが、一難去つて又一難と二度の台風でどうしたものかと迷った末、いちかばちかの思いで決行することに決め、当日は台風も去り、皆さんと初めてのレンコン掘りが出来、喜んでもらえ良かったとほっとしています。又、行きたいとの声もあり機会があれば又行つてみたいと思つています。

ワナゲ	優勝	沢チーム
	準優勝	下枝チーム
ディスコン	優勝	吉田Aチーム
	準優勝	松寿会
高橋英一	優勝	(四十九院)チーム



豊郷シニアGGクラブは、本年度も健康維持増進・そして親睦を深める事を目的に、会員九十二名のご協力を頂き、年間計画通りに開催させていただきました。

年間五回の月例会・六月に第十二回大会・十一月に第十三回大会を盛大に開催する事が出来ました。七月には、今年もクレフィール湖東で五十七名の参加のもと競技を行い、その後、楽しい懇親会となりました。又、十一月二十九日には、年忘れGG大会を土山の大河原グラウンドゴルフ



場で四十六名の参加のもと、山あり谷ありの難コースに悪戦苦闘しながらも和やかに競技が行われ終了後、かむか莊で少し早い忘年会で楽しみました。その他、町ナイター大会・健康フェスティバル・老ク連ニユースポーツ大会などにご協力有難うございました。

では初めて会員各位に各字の誰が会長、副会長をされておられるのか知つて頂くために写真を載せていただきました。第36号では、本部役員様、各字役員様、会員様からそれぞれの活動や出来事などお寄せ頂いた原稿をもとにレイアウト等考えた紙面作りに取り組んでまいりました。

発行するにあたりいろいろとご協力を頂きました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、皆様のご健康とご活躍をお願い申し上げましてお礼の言葉とさせて頂きます。

地域の活動だより

いつも通りに

杉老人クラブ会長 今村 一夫

毎年の恒例行事となっている「集会所での食事会」と集会所周辺やグラウンドの「清掃活動」を例年通りに実施いたしましたが、本年度も、会員の皆さんの笑顔をたくさん見ることができました。

老人クラブとして、目新しいことは何もできていませんが、いつものことをいつも通りに和気藹々と実施できることこそ、最も喜ぶべきことではないかと思っています。

近年、新たな入会者が少なく、会員数も徐々に少なくなっています。今後のことを考えると、気になることがいくつもありますが、これからも、いつものメンバーと一緒に楽しく活動できることを強く願っているところです。

事業を終えるにあたって「雑感」

八町老人会 西村 弘幸

例年に倣って、総会・神社清掃・親睦旅行・新年会等を開催し、町老人クラブ・子ども会・区行事にも参画しました。大過なく終了できそうなのは、役員や班長の方々の助け、会員の皆様の御協力によりできしたことだと考えています。有難うございました。

さて、八町老人会の会員が年々減少傾向にあり、存続が危ぶまれます。心身共に健康な方は忙しく働いておられ新規加入が難しく、少し衰えを感じ始めた頃に入会すると、会運営の中心となることへの負担を感じる頃となり、気楽に入会できない状況が生み出されています。

この現状を打破する手立てや老人会行事を楽しみにされている方々、身体の衰えで参加できない方々へのフォロー等々、課題は山積です。友愛活動のうたい文句でありながら、対処できない一年でした。



一年を振り返って

沢老人クラブ 北村 進

沢老人クラブでは、例年に倣い「健康・友愛・奉仕」の運動を折り込んだ一年間の行事計画に基づき行事を展開させて頂きました。

六月には、天気に恵まれ鏡の様な湖上を竹生島へ赤備え船でのクルーズとしゃれこみ「かんばの宿彦根」にて楽しい昼食を取り、親睦深まる一日を過ごす事が出来ました。

奉仕活動では、地域の美化運動に互いの協力と、ここちよい汗の結晶で、花コンクールで優良賞を頂き又、沢総合グラウンドの年二回の除草にも励みました。

高齢化進む今日では、自分の健康は自ら守る精神で、多くの会員が繰広げるグラウンドゴルフと、秋の菊観会では町包括センターの上田講師による「続けよう自分の健康」のお話は、私達の行先の良き道標になるお話で、参考にさせて頂く事が出来ました。

その他、沢地区・町関係の多くの行事に、皆様方のご協力を頂きありがとうございました。



さあ でかけよう！

下枝千枝里会 安田 誠雄

月例会（2回目）を利用して、町福祉バスにて湖北に出かけました。快晴に恵まれ、まずは長浜ヤンマーミュージアムへ…。最新式の機械やボートの体験に興味津々、子供の気分でゲームに挑戦したり、ピオトープを見学し、ゆったりと過ごすことが出来ました。

さあ次はマキノ町、メタセコイア並木へ…。滋賀にもこんな良い景色のところがあつたのかと感嘆、カメラを片手に必死にシャッターを切る方、次は雪景色を撮りに来ようと計画される方、それぞれが意気盛んでした。

今津町では、琵琶湖周航の歌記念館で100周年の節目として、周航の歌誕生の話に耳をかたむけ、全員で大合唱。記念の歌碑前で竹生島と共に記念撮影、皆さんハイ、ポーズ！

カメラマンに「10歳は若く撮ってくださいね！」

帰途に就くとき、名残惜しく、このままどこかに宿泊したいとの声も上がっていました。

日頃、家に閉籠りがちになっていますので、気分をリフレッシュでき、皆さんの気持は〇〇歳若返りが図れたかと思います。

仲間意識を再認識する絶好の1日となりました。



地域のなかでいつまでも仲良く！

三ツ池老人クラブ

三ツ池老人クラブでは、できるだけ多くの会員が集まれるような機会をつくっています。

毎月2回の食事会では、老人憩いの家に集まって楽しく過ごしながらご飯をいただいています。単なる食事をとるだけではなく、みんなが集まることでいろんな会話ができるということが一番の目的になります。「あの人今日は顔見えへんけど、身体でもこわしてると違うやろか？」。「最近、こんなことがあったんですよ」。人が集えば人の数だけ話が弾みます。

いつも集まっている場所に、いつも同じ笑顔が集まることは、私たち老人クラブが大切にしていることです。また、地域に貢献するという意味で自分たちに出来ることをしていきたいと、除草作業やゴミ拾いなども行っています。

これからも、三ツ池老人クラブでは、みんなが楽しく、仲よく集まれるように活動をしていきたいと考えています。

1年を振り返って

吉田老人クラブ代表 高橋 英一

吉田老人クラブは、95名の会員さんで、新年度をスタートしました。主な活動内容は、年5回のお食事会と健康講座・毎月の神社清掃・墓地草刈り・日帰り旅行・グラウンドゴルフ・花壇の管理等です。

日帰り旅行は、会員さんの健康を考え近くの「かんばの宿」に行きました。ゆっくりとお風呂に入り、お食事、カラオケと楽しい一日を過ごしました。

町老人クラブ連合会行事にも参加し、他クラブの皆さんとの交流も図れたと思います。

又、吉田自治会主催の行事にも積極的に参加し、老人クラブの会員として、地域の皆さんと活動しました。

今年は、いろいろな事情で老人クラブの行事に参加していただけなかった会員さんのお宅を訪問いたしました。会員さんのお顔を見て、お話しするだけで会員同士のつながりが持てたかと思いました。

当クラブの今一番の課題は会員さんの減少と入会者が少ない事です。その要因の一つには社会環境の変化が大きいにあります。

いつまでも現役とはいきませんが、地域でみんなが楽しく暮らせるように、自分のできる範囲内で魅力ある楽しい老人クラブを目指して、これからも活動していきたいと思います。皆様にご協力を賜りまして心から感謝申しあげます。



神社清掃



食事前の健康づくり講座

幸せ会の一年を振り返って

雨降野老人クラブ会長 北川 勇

雨降野老人クラブ幸せ会では、毎月10日に定例会を行っています。

朝8時30分より、神社境内・御旅所等の清掃を行い、その後、集会所にてお誕生会、連絡事項等の後、豊郷駅在所、町包括支援センター、町体育センター等にお願いし、防犯・交通安全、健康についてのお話や軽体操などの講習会を行いました。

毎年恒例の親睦旅行では、箕面温泉スパーガーデンへ日帰り旅行に出かけ、楽しい食事と温泉、お芝居で楽しみました。物故者追悼法要には、沢山の会員さんのお参りをいただきお勤めすることができました。

定期的に開催するお食事会も、わきあいあいと話に花が咲き、一月にはハニーのバンドグループの演奏に若い頃を思い出すひとときでした。

冠句クラブ、グラウンドゴルフ、ゲートボールも仲間を大切に活動を続けておられます。

その他、区の文化祭への協力や、子供達とのコスモスの播種作業を行いました。

これからも仲間作りを大切に、健康に留意して、地域社会の中で少しでも貢献できる様、活動を続けて行きたいと思います。

会員の皆様には、ご協力いただきありがとうございました。



一年間を振り返って

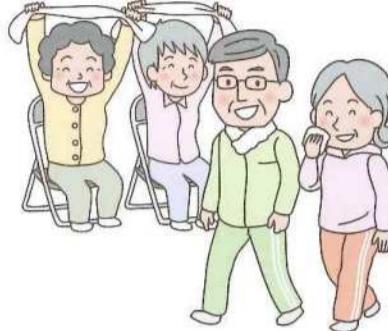
安食南ゆかいな仲間 小椋満佐子

会長を引き受けた一年間何をすれば良いか考えました。豊郷町地域包括センターの上田さんに相談をしました。結果、自宅や地域で暮らし続ける為に「続けよう自分の健幸のばし」の教室を開催しました。

6月 自分で健康チェック・からだを動かそう。習慣づけよう。
からだを動かすことを。

9月 バランスチェックと転倒予防・自立と予防の福祉用具

11月 冬場にも多い、脱水症からの認知症症状を予防する。



上田さんに大きな声でわかりやすく教えて頂き、毎回楽しい勉強会になりました。そのあとに理学療法士の高山先生に転倒・骨折予防体操を教えて頂きました。

月二回の交流ですが、折り紙でコースター作り、計算ドリルをして脳の活性化。食事の方では、お弁当を買ってきたり、手巻き寿し、おこわ、おはぎ作りをして頂きました。その後のコーヒータイムは、みなさんの笑顔とおしゃべりで交流の場を続けています。

今年度の活動について

上枝しらふじ会会長 大橋 健治

新しい年が明けて早くも二ヶ月が過ぎました。年々歳々時間の移り変わりが早く感じられるようになってきました。

二度目の会長を引き受け、今まで本部役員様や上枝しらふじ会会員様には活動に対し大変なご協力を頂くと共に、町長をはじめ行政のご支援によりお蔭で各行事を進めることができ、厚くお礼申し上げます。

今年度は「何時いつまでも健康で」をスローガンに、地域包括支援センターの皆様のご指導を頂き「転倒予防体操と認知症予防講座」や「皆で歌う思い出の音楽会」やお食事会を例年より多く開催しました。また、独居老人宅を訪問し支え合う活動を実施しました。

今年度の反省点は、会員が減少する中、増員が図れなかったことが心残りです。

最後に今年度、93歳で死去された伊香捨吉様のご冥福をお祈りし、活動報告とします。



心豊かな老後を

四十九院老人クラブ会長 古川 直治

四十九院老人クラブでは、4月に物故者をしのんで追悼会を催した後、総会、初めての食事会を行って会員数81名でスタートしました。今年も数々のイベントを行いましたが、憩いの家へ集まって来られたのはほぼ半数でした。お元気な方は地区の中ほどにある老人憩いの家や近所のグラウンドに集まって来られ、手芸、カラオケおよびグラウンドゴルフの各クラブで楽しんでおられます。5月には、

田地や溝の空き缶、空き瓶拾いを行い、6月にはクレフィール湖東へ食事会に出かけ盛り上りました。秋の花つくりコンクールでは、会員のご協力のおかげで最優秀賞をいただきました。また、近年、中山道沿いに群生するスズムシバナが町の文化財の指定を受けましたが、初秋に咲くうす紫の花が私どもを楽しませてくれます。さらに、10月に行われた人権学習会では、藤支照子先生から「忘れそうな大切な心」と題して貴重なお話を賜りました。

心豊かに老後を送るため、趣味を見つけて好きなことに打ちこんで楽しみながら会員一同が心身の健康に努めてゆきたいと思っております。



寿会1年の活動状況

石畠老人クラブ寿会 村岸 善一

石畠老人クラブ寿会は年度初めに役員会で多数参加して頂けるような事業計画を立案し、総会で承認後スタートします。老人クラブでの三大運動を柱に包括支援センター、豊郷駐在所、社会福祉協議会等いろいろな方のご支援やご協力を頂き健康づくり、認知症対策、交通安全や振り込め詐欺など学びました。また、年4回の奉仕作業や日赤奉仕団との交流会、8月には会員物故者追悼法要のお勤め、年8回の食事会を開催、その他区行事への参加と毎月活動しました。今年度の研修旅行は初めての滋賀県警察本部の視察と交通安全や振り込め詐欺の研修、また、指令室や管制室の見学と説明を参加者全員熱心に受講しました。尚、研修旅行は台風21号の翌日で交通事情も悪く4時間以上もかかり、お待ち頂いた県警本部の皆様に大変ご迷惑をおかけしました。これからは今までの研修を少しでも地域活動に貢献できるよう努めたいと思います。



奉仕作業



県警本部での研修

編集後記

春分の季節、ますます健勝のこととお慶び申し上げます。会員の皆様には日々のご協力に感謝申し上げます。近年各地で自然災害が頻発し多大な被害が発生しています。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、「愛の輪」発行に対しましていろいろと寄稿頂き有難うございました。おかげさまで無事発行することができましたこと、広報部員一同心よりお礼申し上げます。

広報部員

- 村岸 善一 川崎 豊子
- 古川 直治 浅井記恵子
- 大橋つる代 辻 登美子
- 増田百合子

高齢者自転車大会

平成29年9月28日に多賀町B&G海洋センター体育館で、彦根・犬上地区大会の交通安全高齢者自転車大会が開催されました。豊郷町チームは見事、団体優勝。個人の部でも、西山幸治さんが優勝、北村進さんが2位入賞という素晴らしい結果を収める事ができました。



愛知・犬上老人クラブ大会

平成29年11月24日に愛荘町立愛知川公民館大ホールで、愛知・犬上老人クラブ大会が開催されました。式典の後、活動事例発表があり、「冠句クラブの活動について」と題して発表されました。ご高齢ながら、ずっと立ち通じて、ユーモアを交えてお話しされました。まだお話はつきませんでしたが、名残惜しい中、時間となりました。大変楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

